

No.

2023 年度 保健体育 科 年間学習計画表

山形県立長井高等学校

科目	体育	単位数	2	週時間数	2	年次・コース・組	3年次
使用教科書 副教材等	ステップアップ高校スポーツ(大修館) 最新高等 保健体育(大修館)						

① 学習の到達目標

運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全についての理解と運動や健康についての課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、思考・判断する力を育てるとともに、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。

各種の運動の合理的、計画的な実践を通して、運動技能を身に付け、自己の状況に応じて体力の向上を図るとともに、公正、協力、責任、参画、多様性などを大切にしようとするなどの意欲と生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を育てる。

② 評価の観点、方法

- ・「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の観点で総合的に評価する。
- ・出席状況、授業への取り組み、パフォーマンステスト、学習ノート、小テスト等で総合的に評価する。

③ 担当者から

- ・運動の意義や技能の理論などを理解し、合理的、計画的な実践を通して、運動技能を身に付け、自己の状況に応じて体力の向上を図ろうとする取り組みができるようになること。
- ・公正、協力、責任、参画、多様性などを大切にしようとする意欲と生涯にわたって継続して運動に親しむための基礎を身に付けられるように取り組ませたい。

※ 前期反省

--

※ 年間反省

--

※ 次年度に向けて

--

④ 学習計画 (どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む)

月	単元名	教科書項目等	・主な学習活動(指導内容) ◎評価のポイント ○留意点	授業時数
4	体づくり運動	・生涯スポーツの味方・考え方 ・ライフスタイルに応じたスポーツ	<p>・オリエンテーション</p> <p>・体育理論(生涯スポーツの味方・考え方、ライフスタイルに応じたスポーツ) ○自主的な学習を通し、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える。 ◎小テスト、授業プリント。積極的に学習に取り組み、プリントなどにまとめ他者に伝えることができているか。</p> <p>・集団行動、体ほぐしの運動、実生活に生かす運動の計画作成 ○集団行動のおもな行動様式を身につける。集団の約束や決まりを守って、仲間と協力し主体的に行動する。 ○体づくり運動の行い方などを理解し、実生活に生かす自己に適した運動の計画を立て実践し、体を動かす楽しさや心地よさを味わう。 ◎実生活への取り入れ方には自己のねらいに応じた様々な運動の計画などがあることを理解し、計画を立てることができているか。 ◎仲間と協力して、いろいろな条件で、走ったり飛び跳ねたりする運動を行うことを通して、お互いの心と体に気付いたり関わり合ったりすることができているか。 ◎一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、課題解決に向けて話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしているか。</p>	前期中間Ⅰまで
5				予定 10 10
6	球技Ⅰ	・ゴール型(サッカー・バスケットボール) ○状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開する。 ◎守備者とボールの間に自分の体を入れて、味方と相手の動きを見ながらボールキープすることができているか。 ◎得点をとるためのフォーメーションやセットプレイなどのチームの役割に応じた動きをすることができているか。	<p>・球技Ⅰはゴール型(サッカー・バスケットボール)、ネット型(バレーボール・ソフトテニス)、ベースボール型(ソフトボール)の5種目から1つを選択する。 ○勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解する。 ○作戦や状況に応じた技能や戦術で、主体的に仲間と連携し、ゲームを展開する。 ○生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題に取り組み、考えたことを他者に伝える。 ◎課題解決の方法には、チームや自己の能力に応じた目標の設定、その目標に適した具体的な作戦や戦術の設定、課題解決に適した練習法の選択と実践、ゲームを通した学習成果の確認、新たな目標の設定といった過程があることを理解して取り組んでいるか。 ◎学習に主体的に取り組み、チームや自己の課題解決に向けた練習方法や作戦について話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしているか。</p>	前期中間Ⅱまで
7				予定 8 18
8				実施 0
9	陸上競技	・日本のスポーツ振興 ・スポーツと環境	<p>・ゴール型(サッカー・バスケットボール) ○状況に応じたボール操作と安定した用具の操作と連携した動きによる空間を作り出すなどの攻防を展開する。 ◎チームの作戦に応じた守備位置から、捨ったりつないだり打ち返したりすることができているか。 ◎相手の攻撃の変化に応じて、仲間とタイミングを合わせて守備位置を移動する動きができているか。 ・ベースボール型(ソフトボール) ○状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備によって攻防を展開する。 ◎守備スペースが空いた方向を狙ってボールを打ち返すことができているか。 ◎投球ではコースや高さをコントロールして投げることができているか。 ◎打球や送球に応じて仲間の後方に回り込むバックアップの動きをすることができているか。</p>	前期末まで
10				予定 12 30
11	球技Ⅱ	・日本のスポーツ振興 ・スポーツと環境	<p>・陸上競技は短距離走、長距離走、ハードル走、走り幅跳び、走り高跳び、砲丸投げの5種目から1つを選択する。 ○自らが選択した種目の記録向上や競争及び自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。 ○体力の高め方や課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付ける。 ◎課題解決の方法には、自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法の選択と実践、記録会などを通した学習成果の確認、新たな目標の設定といった過程があることを理解して取り組んでいるか。 ◎練習や競技会の場面で、自己や仲間の危険を回避するための活動の仕方を提案することができているか。 ◎学習に主体的に取り組み、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしているか。</p>	後期中間まで
12				予定 14 44
1				実施 0
2 ・ 3				年度末
3	予定 10 54			
4	実施 0			